

正味財産増減計算書

令和06年5月1日から令和07年4月30日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	本年度決算	前年度決算	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	359,000	359,000	0
基本財産賃貸料収入	359,000	359,000	0
受取入会金	270,000	805,000	△535,000
入会金収入	270,000	805,000	△535,000
受取会費	3,208,000	2,783,000	425,000
会費収入	3,208,000	2,783,000	425,000
事業収益	6,176,330	7,021,200	△844,870
駐機料	1,042,500	942,000	100,500
フライト料	5,062,830	6,058,200	△995,370
一日会員	71,000	21,000	50,000
受取補助金等	255,600	187,000	68,600
補助金収入	255,600	187,000	68,600
雑収入	1,883,579	5,334,603	△3,451,024
受取利息収入	2,219	1,031	1,188
雑収入	21,360	4,113,572	△4,092,212
協力金収入	1,860,000	1,220,000	640,000
経常収益計	12,152,509	16,489,803	△4,337,294
(2) 経常費用			
管理費	2,246,013	2,918,082	△672,069
会議費（管理	92,830	84,150	8,680
旅費交通費（管理	13,198	52,063	△38,865
通信運搬費（管理	174,936	173,389	1,547
消耗品費（管理	61,990	87,831	△25,841
修繕費（管理	0	517,000	△517,000
賃借料（管理	581,900	581,900	0
保険料（管理	93,120	69,680	23,440
租税公課（管理	180,410	186,060	△5,650
負担金（管理	150,000	180,000	△30,000
委託費（管理	99,790	149,790	△50,000
雑費（管理	32,750	107,049	△74,299
減価償却費（管理	351,070	378,045	△26,975
支払手数料（管理	4,539	6,435	△1,896
光熱水料費（管理	409,480	344,690	64,790
事業費	10,483,088	13,880,344	△3,397,256
旅費交通費（事業	865,188	1,217,808	△352,620
通信運搬費（事業	11,590	8,130	3,460

正味財産増減計算書

令和06年5月1日から令和07年4月30日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	本年度決算	前年度決算	増 減
消耗品費（事業	961,022	1,708,839	△747,817
修繕費（事業	2,205,614	5,576,434	△3,370,820
燃料費（事業	894,734	1,030,481	△135,747
賃借料（事業	1,762,962	1,247,447	515,515
保険料（事業	2,564,210	1,901,924	662,286
租税公課（事業	138,000	53,600	84,400
雑費（事業	43,663	48,196	△4,533
支払手数料（事業	6,105	9,535	△3,430
広報費（事業	70,000	117,950	△47,950
給料手当（事業	960,000	960,000	0
経常費用計	12,729,101	16,798,426	△4,069,325
評価損益等調整前当期経常増減額	△576,592	△308,623	△267,969
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△576,592	△308,623	△267,969
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
当期一般正味財産増減額	△576,592	△308,623	△267,969
一般正味財産期首残高	18,423,477	18,732,100	△308,623
一般正味財産期末残高	17,846,885	18,423,477	△576,592
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	17,846,885	18,423,477	△576,592

貸借対照表

(正味損益用)

令和07年4月30日現在

(単位：円)

	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
I. 資産の部				II. 負債の部			
1. 流動資産				1. 流動負債			
現金	871,739	1,908,781	△1,037,042	前 受 金	40,000	10,000	30,000
預 金	109,332	427,146	△317,814	負債合計	40,000	10,000	30,000
預 金	755,637	1,474,865	△719,228				
前払費用	6,770	6,770	0	III. 正味財産の部			
2. 固定資産	17,015,146	16,524,696	490,450	1. 指定正味財産			
(1) 基本財産	2,928,514	3,131,223	△202,709	指定正味財産			
基本建物	2,869,074	3,071,814	△202,740	2. 一般正味財産	17,846,885	18,423,477	△576,592
基本航空機	5	5	0	一般正味財産	17,846,885	18,423,477	△576,592
基本その他	59,435	59,404	31	正味財産合計	17,846,885	18,423,477	△576,592
(2) 特定資産	12,624,098	13,127,909	△503,811				
機材整備積立資産	12,624,098	13,127,909	△503,811				
(3) その他固定資産	1,462,534	265,564	1,196,970				
車輛運搬具	1,398,135	105,986	1,292,149				
器具及び備品	64,399	159,578	△95,179				
資産合計	17,886,885	18,433,477	△546,592	負債及び正味財産合計	17,886,885	18,433,477	△546,592

財産目録

令和07年4月30日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金		運転資金	109,332
	預金	ゆうちょ	運転資金	755,261
	預金	八十二普通（預金）		376
	前払費用		建物火災保険	6,770
流動資産合計				871,739
(固定資産)	基本財産			
	基本建物		研修棟	2,869,074
	基本航空機		グライダー	5
	基本その他		八十二銀行	59,435
	特定資産			
	機材整備積立資産		八十二銀行、ゆうちょ銀行	12,624,098
	その他固定資産			
車輛運搬具		トレーラー、草刈機等	1,398,135	
器具及び備品		無線機等	64,399	
固定資産合計				17,015,146
資産合計				17,886,885
(流動負債)				
	前受金		年会費	40,000
流動負債合計				40,000
負債合計				40,000
正味財産				17,846,885

公益社団法人 長野グライダー協会

令和6(2024)年度 事業報告

(令和6年5月1日～令和7年4月30日)

令和7年5月24日

令和3年度の理事会にて承認された事業計画書に基づき、以下の活動を行った。

1. 航空スポーツに関する訓練

1) 会員通常訓練

参加者は毎回10～20人。科目の基礎練習をはじめ、リッジソアリング、サーマルソアリング、クロスカントリーなどを通じて各会員が技量の向上に努めた。

2) 山岳滑翔体験会

ホームページやチラシ、滑空協会の機関誌を通じて山岳滑翔のPRを実施。他クラブの社会人・大学生・高校生が参加する事で長野の地域特性を理解・周知する良い機会となり、また入会のきっかけともなった。

3) 学生合宿の受け入れ

現在の学生会員大学は信州大学、慶應義塾大学・高校、防衛大学校、京都大学の4校。協会の活動日に合わせての参加や単独合宿を計画しての活動を行った。

4) ナガノフライトサービスの運用

活動日に運用し、当協会の運航とともに、ドクターヘリコプターや報道機関等のヘリコプターにトラフィックや気象情報を提供することによって、安全な飛行を確保することができた。

5) グライダー体験飛行

長野市内外より、ホームページや看板、ながの市報、飛行中のグライダーを観て多数の方々が滑空場を訪れ、活動の様子を見学頂く事が出来た。

2. 航空スポーツに関する競技会及び研究会の開催

1) 国際記録会オンラインコンテストへの参加

コンテストへの参加によりウェーブやクロスカントリーの技術力の向上が図れたとともに、長野の滑空環境の良さがアピールできた。

2) 競技会開催のための研究・勉強会の推進

個人の操縦技術の向上を目指し、より効率的なサーマリングフライトに取り組んだ。

3. 航空スポーツに関する教育指導体制の充実

1) 指導者の育成、教育証明取得の支援

令和6年10月24日、緊急対処訓練時のオーバーラン事故を受け、協会の教官の指導力向上のための指導要領の統一及び技量確認フライトを行った。

2) 指定養成施設の維持とライセンスの育成

指定養成教官のリカレントチェック(毎年実施)を行い、施設の維持を図った。

3) 特定操縦技能審査業務

技量維持のために義務付けられている2年毎に必要な審査は、当協会の教官を中心に会員に対して実施している。

4) 会員に対する定期的なフライト及び技量チェックの実施

令和6年10月24日、緊急対処訓練時のオーバーラン事故を受け、緊急対処のチェック要領を整理し、会員の緊急対処技量の底上げを図った。

4. 会誌の発行、資料の配布

1) ツイッターの管理・更新

ホームページのトップページに、指定養成施設であることを掲示し、グライダーパイロットスクールをPRした。
ブログに代えて、ツイッター・SNSで会員の話題を掲示し、活動内容を伝えることに努めた。

2) 広報誌発行の検討

広報誌の発行は実施できなかったが、ツイッター・SNSにて対応した。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 多目的広場の管理受託及び維持管理

訓練の安全確保と緊急時の一般航空機の飛来に備えて、多目的広場(滑空場)の維持管理活動(滑走路の平坦化整備、草刈り、ゴミ拾いなど)を実施。およびギャラリー安全対策として、注意看板やロープ、案内説明板などを設置した。

2) 滑走路の整備

草刈り、整地、路面補修他滑走路の整備を会員で定期的に実施した。

3) 滑走路延長・誘導路計画の推進と、大規模競技会開催の検討を開始

滑走路南側の延長の可能性について、河川事務所の堤防工事等の計画に関する情報の収集に努めた。

4) 機材の整備など

夏季期間中に運航と並行しつつ、会員によって協会グライダーの整備を実施した。

5) 長野市スポーツ協会への参加

協会主催の各種会議に出席した。

6) 太郎山愛護会への参加

7) 新会員募集活動

当会ホームページでの告知や体験搭乗、1日会員制度を経て、新会員の入会が相次いだ。

信州大学新入生への入会勧誘活動では、多数の体験搭乗者を受け入れ、活動を支援した。

8) 旧クルマ林を協会で賃借してトレーラーの駐車場として整備し、引き続き会員の利便性の向上を図っている。

9) 中高生向け会員制度

青少年の滑空活動のより一層の受け皿となる事を目指し、中高生が低額で飛行活動に参加できるよう個人で入会する中高生向け会員制度を制度化した。

10) 地域親交イベント事業

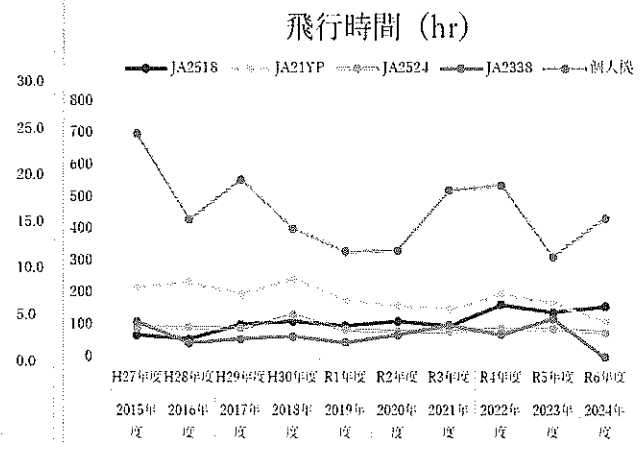
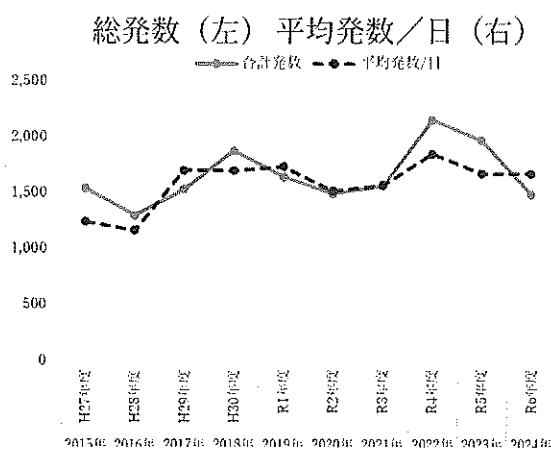
長野市の「みらいハッケン」プロジェクト事業への参加により、小中高生の体験搭乗が活性化した。

以上

令和 6(2024)年度 フライト実績

運航日数:74 日 (参考-前年度 運航日数:98 日)

機体番号	発航回数(占有率・%)		飛行時間(占有率・%)	
JA2518(複座)	641	43.0%	158	20.3%
(前年度)	699	35.4%	140	16.9%
JA21YP(複座)	409	27.4%	111	14.2%
(前年度)	679	34.4%	168	20.2%
JA2524(単座)	121	8.1%	76	9.8%
(前年度)	151	7.7%	88	10.6%
JA2338(モーター)	0	0.0%	0	0.0%
(前年度)	210	10.6%	120	14.4%
個人機	319	21.4%	435	55.7%
(前年度)	233	11.8%	314	37.9%
合計	1,490	100.0%	780	100.0%
(前年度)	1,972	100.0%	830	100.0%



《 考察 》

- ・発航回数は前年度比-482 回、飛行時間は前年比-50 時間となった。発航回数・時間が減った主な要因は、11-12 月の運航自粛による約-300 回、約-80 時間の影響が大きい。
- ・JA2338(モーター)はの発航は整備のため0であったが、JA21KA のサポートが 50 回、36 時間あった。
- ・個人機の状況は、前年度比で発航回数は+87 回、飛行時間は+121 時間であり、21KA の個人機カウントを差し引いても、活発化の兆しがあったと見られる。
- ・今年度の活動日数は 74 日となり、昨年度から-24 日であったことは、11-12 月の運航自粛の 18 日を加味した上で、天候に恵まれなかった期間があったといえる。

以上

公益社団法人 長野グライダー協会 協会機フライト実績推移表

令和 6(2024) 年度

運航日数 74 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備 考
JA2518 (複座)	641	158	
JA21YP (複座)	409	111	
JA2524 (単座)	121	76	
JA2338(モーター)	0	0	
個 人 機	319	435	
合 計	1,490	780	

令和 5(2023) 年度

運航日数 98 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備 考
JA2518 (複座)	699	140	
JA21YP (複座)	679	168	
JA2524 (単座)	151	88	
JA2338(モーター)	210	120	
個 人 機	233	314	
合 計	1,972	830	

令和 4(2022) 年度

運航日数 97 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備 考
JA2518 (複座)	599	164	
JA21YP (複座)	902	197	
JA2524 (単座)	177	88	
JA2338(モーター)	130	70	
個 人 機	348	538	
合 計	2,156	1,057	

令和 3(2021) 年度

運航日数 83 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備 考
JA2518 (複座)	346	97	
JA21YP (複座)	603	150	
JA2524 (単座)	142	81	
JA2338(モーター)	202	100	
個 人 機	274	521	
合 計	1,567	949	

令和 2(2020) 年度

運航日数 82 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備 考
JA2518 (複座)	353	112	
JA21YP (複座)	623	159	
JA2524 (単座)	136	79	
JA2338(モーター)	163	69	
個 人 機	225	334	
合 計	1,500	752	

令和元(2019) 年度

運航日数 79 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備 考
JA2518 (複座)	376	97	
JA21YP (複座)	881	175	
JA2524 (単座)	137	86	
JA2338 (モーター)	77	45	
個 人 機	179	330	
合 計	1,650	733	

平成 30(2018) 年度

運航日数 92 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備 考
JA2518 (複座)	419	112	
JA21YP (複座)	944	243	
JA2524 (単座)	156	131	
JA2338 (モーター)	140	64	
個 人 機	224	401	
合 計	1,883	952	

平成 29(2017)年度

運航日数 75 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備 考
JA2518 (複座)	263	102	
JA21YP (複座)	707	195	
JA2524 (単座)	155	91	
JA2338 (モーター)	131	56	
個 人 機	283	556	
合 計	1,539	1,001	

平成 28(2016)年度

運航日数 93 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備 考
JA2518 (複座)	142	56	
JA21YP (複座)	728	234	
JA2524 (単座)	111	93	
JA2338 (モーター)	111	44	
個 人 機	213	431	
合 計	1,305	858	

平成 27(2015)年度

運航日数 103 日

機体番号	発航回数 (回)	飛行時間 (時間)	備 考
JA2518 (複座)	170	69	
JA21YP (複座)	698	219	
JA2524 (単座)	93	92	
JA2338 (モーター)	240	112	
個 人 機	345	698	
合 計	1,546	1,190	

フライト実績一覧（2015年度～2024年度）

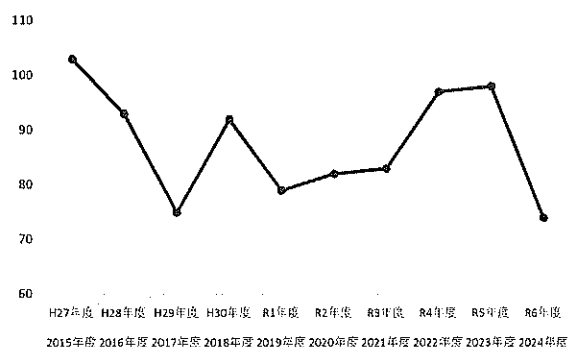
運航日数	2015年度 H27年度	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度	2021年度 R3年度	2022年度 R4年度	2023年度 R5年度	2024年度 R6年度
運航日数	103	93	75	92	79	82	83	97	98	74

平均発数／日	2015年度 H27年度	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度	2021年度 R3年度	2022年度 R4年度	2023年度 R5年度	2024年度 R6年度
平均発数／日	15.0	14.0	20.5	20.5	20.9	18.3	18.9	22.2	20.1	20.1
合計発数	1,546	1,305	1,539	1,883	1,650	1,500	1,567	2,156	1,972	1,490

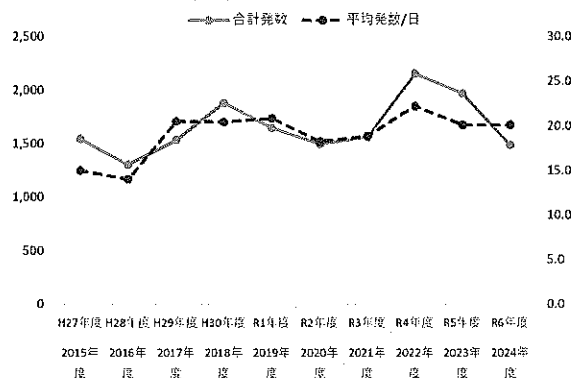
運航発数	2015年度 H27年度	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度	2021年度 R3年度	2022年度 R4年度	2023年度 R5年度	2024年度 R6年度
JA2518	170	142	263	419	376	353	346	599	699	641
JA21YP	698	728	707	944	881	623	603	902	679	409
JA2524	93	111	155	156	137	136	142	177	151	121
JA2338	240	111	131	140	77	163	202	130	210	0
個人機	345	213	283	224	179	225	274	348	233	319
合計	1,546	1,305	1,539	1,883	1,650	1,500	1,567	2,156	1,972	1,490

フライト時間	2015年度 H27年度	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 R1年度	2020年度 R2年度	2021年度 R3年度	2022年度 R4年度	2023年度 R5年度	2024年度 R6年度
JA2518	69	56	102	112	97	112	97	164	140	158
JA21YP	219	234	195	243	175	159	150	197	168	111
JA2524	92	93	91	131	86	79	81	88	88	76
JA2338	112	44	56	64	45	69	100	70	120	0
個人機	698	431	556	401	330	334	521	538	314	435
合計	1190	858	1001	952	733	752	949	1057	830	780

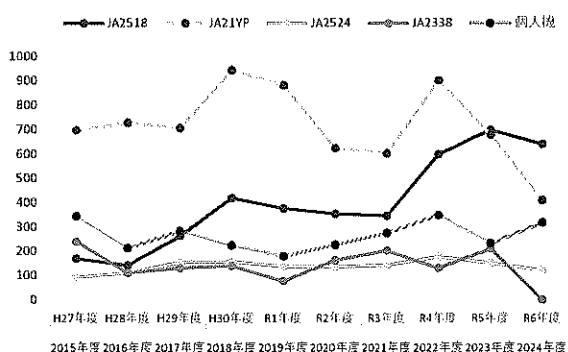
運航日数（日）



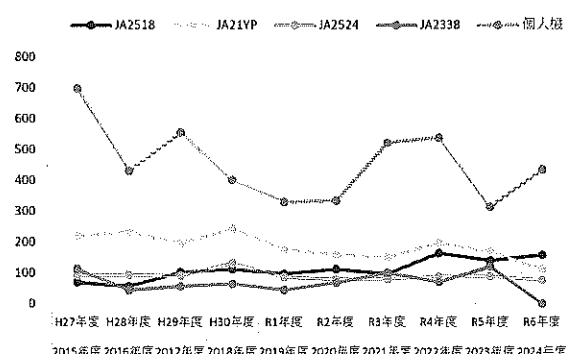
総発数（左） 平均発数／日（右）



発航回数（発）



飛行時間（hr）



監査報告書

公益社団法人 長野グライダー協会

会長 加藤 英夫 殿

令和6年5月1日から令和7年4月30日までの事業年度の理事の職務執行状況及び財産の状況を監査しましたので、次のとおり報告いたします。

1. 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令若しくは定款に違反する重要な事実は認められません。
3. 計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和 7年 5月11日

公益社団法人 長野グライダー協会

監事

三吉政道



監事

堀須勝雄

